

埼玉から世界へ挑む

海外展開を試みる中小企業が、急増している。国内市場が縮小する中、外需に活路を求めるのは必然の流れ。大手企業の海外拠点による現地調達化も止まらない。アジア、北米、欧州など、進出先は各社さまざま。“何処へ出るか”によって会社の未来は大きく変わる。大胆な決断を下し世界に挑む中小企業6社を紹介する。

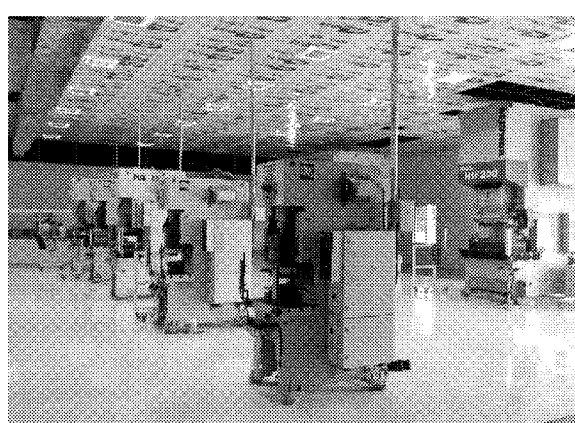
潤滑剤、フッ素コーティング剤 アジアで拡販



ハーベス(さいたま市浦和区、前田知憲社長、048・824・2821)は中国・香港と韓国・ソウルの海外2拠点で、潤滑剤「ドライサーフ」やフッ素コーティング剤「デュラサーフ」(写真)などの拡販を図っている。家電、自動車、スマートフォン(多機能携帯電話)などの現地ニーズに対応。

一方、10年にソウル支店を開設した韓国では、サムスン電子などによるスマホ、タブレット端末(携帯型情報端末)関連需要がターゲット。タッチパネルの汚れ付着防止用としてデュラサーフを提案し、年3000万円近くを売り上げている。

インドで現地企業と合併会社設立



日本メタルガスケツト(埼玉県熊谷市、植田耕司社長、048・532・0911)は2輪車や4輪車用の金属製ガスケツトを生産する。海外は中国、韓国、タイなどに現地法人を展開する。6カ所目の海外生産拠点としてインドに進出し、2月に工場を稼働した。総投資額は約4億円。敷地面積は8000平方メートル、平屋建て工場の床面積は2300平方メートル。新設した金型製作のガスケツトが求められている。そこで実績のある日本メタルガスケツトに対し提案があり、合併会社設立に至った。

営業先は日系や現地資本メーカ。「期待できる市場」(植田社長)の旺盛な需要に応える。

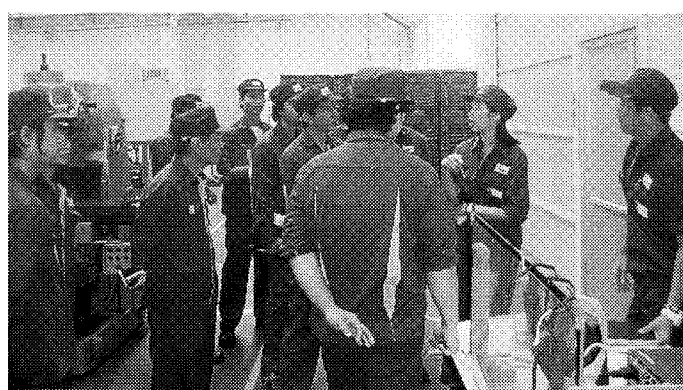
タイ進出10年 メッキ棟増築



協成(東京都新宿区、白崎満明社長、03・3260・5326)はフォトリソ加工、二次加工による精密部品製造会社。国内工場(埼玉県川島町)は開発試作、タイ工場(写真、アユタヤ県)は量産と、分業体制を敷く。タイ工場では約700人の従業員が働く。12年10月には進出10年を迎えた。日系メーカ

向けの仕事が9割以上。タイからアジアの海外工場へ輸出すること、現地調達ニーズに対応する。近年はスマートフォン(高機能携帯電話)向けビジネスが好調で、毎年のように投資を続けている。11年には1億5000万円を投じて、工場内に銀メッキなどを扱うメッキ棟を増築した。さらに12年には3億円を投じて2階建ての建屋を増築した。目下の悩みは需要動向。スマホブームが続くとは限らない。「次に何が伸びるか」(白金社長)ウオッチを続ける。

タイ生産子会社 本格稼働へ



日本伸管(埼玉県新座市、細沼直泰社長、048・477・7331)は2月、100%出資のタイ生産子会社「日本伸管タイランド」(写真)を稼働した。順調な立ち上がりを見せ、タイ国内向けに複写機向けの精密アルミ伸管品2機種、月間で計50万本程度の量産に着手した。予定では設立2年目の稼働率を1年経つが誰も辞めない」(同)こと。

あいさつ、ラジオ体操、提案制など運営は全て日本と同じにした。従業員の誕生会や貸し切りクルージングも行うなど家族的雰囲気の醸成に努めている。

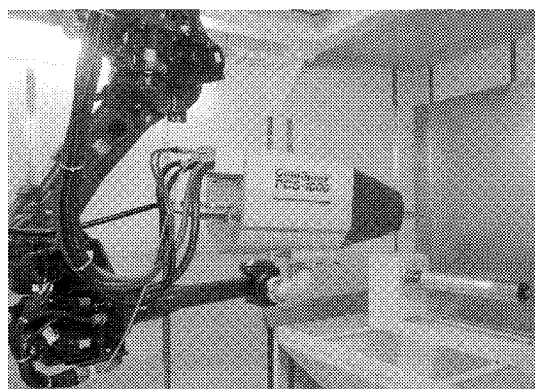
ベトナムで自社ブランド品生産



紙加工品メーカーの中川製作所(埼玉県蕨市、一色謙社長、048・444・8211)は、1987年に米国に進出。91年にドイツに、92年にはマレーシアへと、OEM(相手先ブランド)供給先の要望に応じる形で、早くからグローバル化に着手していた。当時はプリンター用紙などが絶好調だった。しかし「今がピーク」(一色社長)と直感。メーカー向けだけではなく、一般消費者に訴える商品が必要と、自社製品の育成に着手。日本で開発したオリジナル製品を、世界に売ろうと考えた。

この構想を実現したのが、11年に設立したベトナム現地法人(写真)。12年に稼働した工場で、宛名用紙などのラベル用紙を生産する。ターゲットは日本、米国、欧州市場だ。「使い方を考え抜くことで需要が生まれる」(同)と、ペーパーレス時代の逆風に強気だ。立ち向かう。

米国拠点から欧州にらむ



溶射加工メーカーのプラズマ技研工業(東京都豊島区、深沼博隆社長、03・3980・9080)は昨年、米国マサチューセッツ州に進出した。4年前に新事業として本格参入したコールドスプレー装置(写真)を拡販する。国内工場(埼玉県春日部市)でオートマチックを開きアビリティを高めたが、満を持して営業拠点を開設した。金属材料を溶融せずに超高速で対象に溶射する。課題は欧州販売。コールドスプレー装置販売では独の競合社が先行しているが「それ以上の性能がある」(深沼社長)と製品への自信はたつぷり。米国拠点を軌道に乗せ、「いずれ米国に海外販売を集約」(同)する。

米国から欧州開拓に乗り出す青写真を描く。

厳しい時代だからこそ“モノづくり”はEMSのUMCにお任せください!

UMCは日系最大級のEMS(電子機器受託製造サービス)企業で、アジアを中心としたグローバルプレゼンスのある企業です。日本・中国・ベトナムに加え、新たにタイへ進出し(2013年8月稼働開始)、世界中のお客様にきめ細やかなサービスと真心こめた製品をお届け致します。

《UMCの特徴》

- ・全グループ社員10,000人を超える日系最大級のEMS企業です。
- ・「同一資本・同一経営による国内及び海外拠点展開」
国内、海外工場との連携を含め万全なご対応をお約束します。
- ・「開発設計から完成品組立までのワンストップソリューション」
経験豊富な開発部門により、設計から完成品組立まで一貫体制でご対応いたします。
- ・中国・ベトナムにも日本人技術者が駐在。
お客様は全て日本語で対応可能です。
- ・「グローバル調達」
日本、香港、中国、ベトナムの4拠点購買で最適地調達を実施。
ローカル部材のご提案もいたします。
- ・「品質保証体制」
ISO9001、14001を全拠点認証取得。
車載品質システム規格ISO/TS16949を日本と中国で認証取得しています。
- ・製造拠点は日本(埼玉県上尾市、宮崎県都城市)、中国(深圳・東莞)、ベトナム(ハノイ)、タイ(バンコク)。
- ・グローバルコンパクト加入。

タイ・バンコク

ベトナム・ハノイ

中国・深圳

中国・東莞



ユーエムシーエレクトロニクス株式会社

本社/〒362-0022 埼玉県上尾市瓦葺721 TEL: 048-724-0001 FAX: 048-724-0005 <http://www.umi.co.jp/>



本社



本社工場



宮崎

